

医学セミナー

演題：“安全な”再生医療にむけた幹細胞ソース
～抜去歯幹細胞が秘める疾患治療の可能性～

演者： 中原 貴 先生

日本歯科大学 生命歯学部

発生・再生医科学講座 教授

日付： 2014年1月28日（火）

時間： 17：30 ～ 19：00

場所： 4A 411 室



要旨：

日本発の革新的技術であるiPS細胞の開発は、わが国の幹細胞をもちいた再生医療の実現にむけて大きな弾みとなり、早くも今夏にはiPS細胞が患者に移植される予定となっている。

一方、iPS細胞が登場する以前の幹細胞ソースは主に骨髄であり、ついで脂肪が注目を集めてきた。これら組織幹細胞とよばれる一連の細胞群は、自家幹細胞として入手可能であり、かつ、がん化のリスクが低いため、安全な再生医療には欠かせない幹細胞であることに現在も変わりはない。

われわれは、新たな組織幹細胞ソースとして歯科特有の抜去歯に着目し、複数の抜去歯幹細胞の分離培養に成功している。これらの幹細胞は、腸骨から得た骨髄幹細胞をはるかに凌ぐ増殖能を有し、さらに同等の多分化能を誇る。

本講演では、抜去歯幹細胞の魅力的なポテンシャルについて紹介すると共に、“安全な”医療を提供すべきわれわれ医療人としての原点を再考する機会になれば幸いである。

連絡先： 医学医療系 顎口腔外科学 武川 寛樹（7934, 3050）